SOBY

地上デジタルテレビチューナー
MS-F4X4
取扱説明書 Ver 1.00

車載用地上デジタルチューナー
取付・取扱説明書／保証書

MS-F4X4

この度は車載用地上デジタルチューナーをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び操作手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。尚、読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

目次

1. **製品の注意事項** ---------- 3
2. **梱包内容** ---------- 7
3. **付属品** ---------- 8
4. **B-CAS カードについて** ---------- 9
5. **フィルムアンテナの設置**---------- 10
6. **リモコン受光部の取付け**---------- 13
7. **電源コードの取付け**---------- 13
8. **メインユニットの接続方法** ---------- 15
9. **メインユニットの固定方法** ---------- 16
10. **リモコンを操作方法** ---------- 16
11. **製品の初期設定**---------- 17
    - 11-1. チャンネルの初期設定
    - 11-2. 地域を設定
    - 11-3. チャンネルを選択
    - 11-4. ホーム／おでかけモードを選択
    - 11-5. 地上デジタル放送とワンセグ放送を切換
12. **チャンネル情報を表示** ----------19
13. **音声多重放送の選択方法** ---------- 19
14. **設定メニュー**---------- 20
    - 14-1. チャンネル設定
    - 14-2.受信優先権切換設定
    - 14-3. 画面設定(アスペクト比)
    - 14-4. 字幕・文字スーパー設定
    - 14-5. B-CAS 情報
    - 14-6. 暗証番号設定
    - 14-7. 設定初期化
15. **故障かな?と思ったら**---------- 23
16. **製品仕様** ---------- 24
17. **製品保証書** ---------- 25

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じる、または想定される内容を「警告」・「注意」の 2 つに分けています。

警告

警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因と警告なります。

注意

注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る注意可能性があります。

警告

●本製品を前方の視界を妨げる場所やハンドル、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、または同乗者に危険を及ぼす場所には取付けをしないでください。

●本製品取付け作業中はバッテリーのマイナス端子を外してください。

●エアバッグが装着されている車両に取付ける場合は、絶対にエアバッグのカバー部および作動時の妨げになるような場所には取付け、または配線をしないでください。

●配線類は運転の妨げとならないように収納してください。

●本製品の電源線から他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。

●本製品取付け完了後、全ての車両電装品（ブレーキランプ、ライト、ホーンなど）が正しく作動するのをお確かめください。

●本製品は DC12V 車専用です。（DC24V 車へのお取付けはできません。）

●本製品を分解したり改造しないでください。

●配線は金属部や高温部を避けて行ってください

●画面が映らない、音声が出ないなど本体の故障が考えられる場合はその状態で使用しないでください。

●本製品（各パーツ）に異物が入ったり、水や飲み物がかかったり、煙がでる、変なにおいがするなど異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し必ずお買い上げ販売店にご相談ください。

●危険ですので運転しながら本製品の使用、操作はしないでください。

●運転者が本製品でテレビ等を見る場合は必ず安全な場所に車を停車させてください。

注意

●本製品は必ず取扱説明書にしたがって正しく取付け、使用してください。

●本製品の取付けには専門知識、技術、経験が必要です。必ずお買い上げの販売店またはカーディーラーに取付けを依頼してください。お客様ご自身で取付けられた場合は保証は受けられません。

●付属の部品は取扱説明書通りに使用してください。その他の目的で使用しないでください。

●本製品を下記のような場所に取付けないでください。

・雨が吹込むところや水のかかる場所。

・湿気やホコリの多い場所。

・振動の多い場所やしっかり固定できない場所。

・ヒーターのダクト付近の温風があたる場所や直射日光があたる場所、カーペットの下等熱がこもりやすい場所等、高温になりやすい場所。

●本製品を取付ける際は、通風孔をふさがないように取付けを行ってください。また、逆さや縦向きに設置しないでください。

●配線を車両のシートレール等の可動部にはさみ込まないように注意して配線を行ってください。

●お使いのナビやモニターへの接続方法・手順に関しては、各製品の取扱説明書をご確認ください。

●本製品を使用する際は車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。

●本製品は車載専用です。車載以外では使用しないでください。

●本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。

●取付け方法、取付け車両により工具が必要になる場合があります。

地上デジタル放送とは・・・

・地上デジタル放送は、現行の地上アナログ放送がデジタル化された放送です。従来の地上アナログ放送よりも高画質な映像や多チャンネルの番組を楽しむことができます。

・地上デジタル放送の携帯・移動体向けサービスに「ワンセグ」があります。「ワンセグ」とは地上デジタル放送の電波の約 6MHzの帯域を 13個のセグメントに分割し、その1つのセグメントを利用して放送されることから、ワンセグと呼ばれるようになりました。

・本製品は電波の受信状態により、地上デジタル放送とワンセグ放送を自動で切換える機能を採用しています。また、地上デジタル放送またはワンセグ放送に固定し、受信することもできます。

※本製品はデータ放送の受信には対応しておりません。
地上デジタル放送等の詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人地上デジタル放送推進協会 http://www.dpa.or.jp/

地上デジタル放送の受信について

地上デジタル放送では下記のような場合等受信状態が悪くなると、映像にブレやブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。

・本製品の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）の車内での使用、またはそれらの機器を本製品のメインユニットやフィルムアンテナ、アンテナコードに近づけた場合。

・電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの近くでの本製品を使用した場合。

・受信状態が弱いときに、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を作動させた場合。

上記のような場合、場所を移動するか、電子機器や無線利用機器を本製品から離して使用してください。また、高速走行中や停車中でも周囲の環境等によって受信状態は変化します。

※障害物などの影響により放送エリアでも受信できない場合があります。

使用上のお願い。

・コピーガードがかかっている番組は、録画機器を経由して視聴すると映像が正常に表示されない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は録画機器を経由しないで、直接本製品とテレビを接続してください。

・お客様がビデオデッキ等で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上権利者に無断で使用することはできません。

・本製品は ARIB（電波産業会）規格に基づいた商品仕様になっています。将来規格変更があった場合は。商品仕様を変更する場合があります。

・国外で本製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。

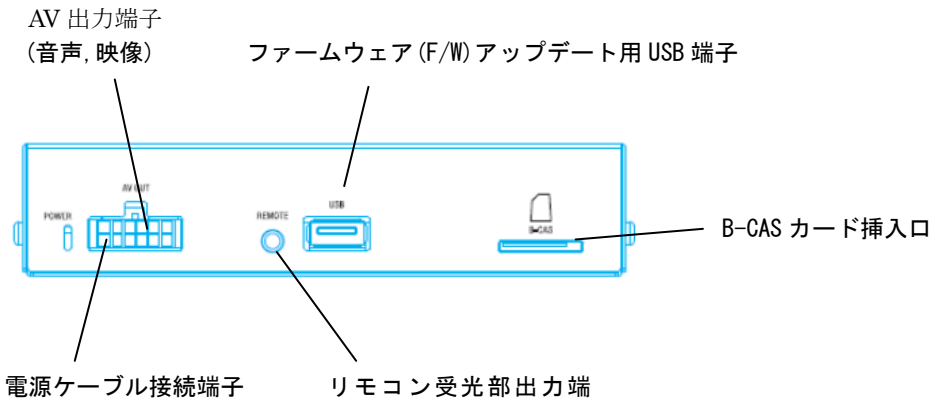
・各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

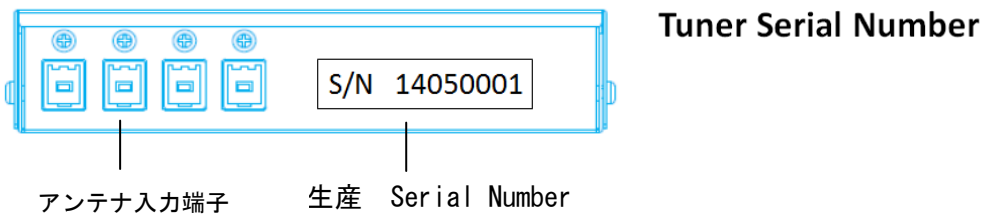
B-CAS カードについて

・B-CAS カードを挿入しないと、地上デジタル放送を受信することができません。（ワンセグ放送は受信できます）
・ダッシュボード上など、高温になる場所にカードを放置しないでください。カードの曲がり等で使用できなくなる恐れがあります。
・カードの台紙に記載の使用許諾契約約款をよくお読みのうえ、使用者ご自身でパッケージを開封し、カードを本製品に挿入してください。
・本製品に同梱の B-CAS カードは地上デジタル放送専用です。BS/110 度 CS デジタル放送対応受信機には使用しないでください。
・盗難防止のため、車両から離れる際は B-CAS カードを本製品から抜き、車内に残さないようにすることをおすすめします。

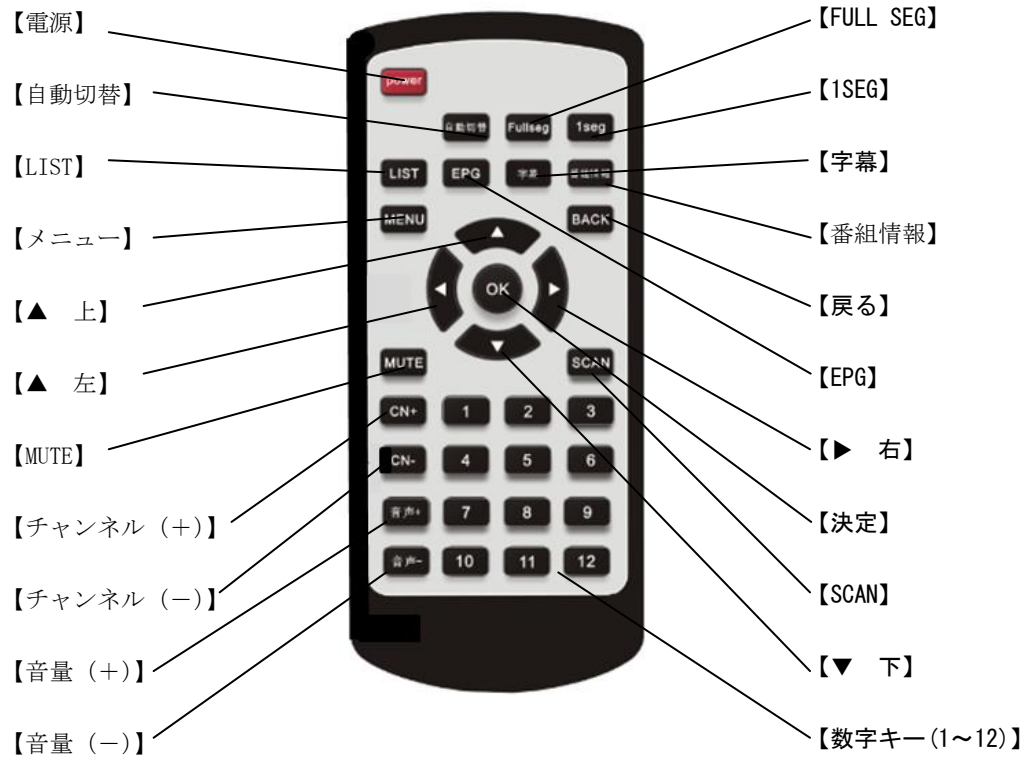
2. 梱包内容

メインユニット



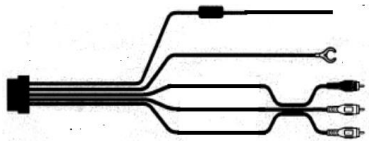


リモコン



3. 付属品

電源・AV コード（1 個）（約 3m）



マジックテープ（2 セット）
（メインユニット固定用）

リモコン受光部（1 個）（約 3m）

フィルムアンテナ（約 5m）
（コード分離型、左右前後各 1 個）

Mini B-CAS カード（1 枚）

※取扱説明書のイラストと実際の製品では一部形状が異なる場合があります。

※製品の品質向上のため、通知せずに仕様を変更する場合があります。

4. B-CAS カードについて

4.1　B-CAS カード取扱上の注意点

・折り曲げたり、変形させない。
・重いものを置いたり踏みつけたりしない。
・水をかけたり、ぬれた手で触らない。
・IC チップ部には手を触れない。
・分解・加工は行わない。
・BS/110 度 CS デジタル放送対応受信機には使用しない。

B-CAS カードを破損したり、紛失・盗難された場合は、下記カスタマーセンターにお問い合わせください。
（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL:0570-000-250（詳しくは B-CAS カード台紙を参照ください）

4.2　B-CAS カードの入れ方

１）B-CAS カードを台紙から取外します。B-CAS カードのパッケージを開封すると、台紙に記載の使用許諾契約約款に同意したものとみなされるため、開封前に必ずお読みください。

２）B-CAS カードを挿入します。挿入方向を確かめたうえ、奥まで挿込んでください。

※挿入方向に注意してください。

注意
B-CAS カードを抜き差しする際は必ず電源を切ってから行ってください。

5. フィルムアンテナの設置

フィルムアンテナを取付ける前に必ずお読みください

注意

・配線をするために、フロントピラーを一時的に取外す必要があります。車種によっては取付けができない場合があります。販売店にご相談ください。
・ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両には取付けすることができません。
・熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用している車種の場合には受信感度が極端に低下します。
・保安基準に適合させるため、必ずフロントウィンドウの指定の位置に取付けを行ってください。指定した位置以外に取付けをすると車検不適合と判断され、不合格になる場合があります。（道路運送車両の保安基準第 29 条第 4 項第 6 号）
・フィルムアンテナはフロントウィンドウとリアウィンドウへの取り付け用です。
それ以外の場所に取付けをしないでください。受信感度が低下します。
・フィルムアンテナは、フロントウィンドウの車内側に貼付けてください。
・アンテナの保護シートを剥がしたあと、アンテナ貼付面には手をふれないでください。指紋やゴミが付着し粘着力が弱くなります。
・必ずケーブルおよびフィルムアンテナの引き回し等を十分に検討してから取付けを行ってください。一度貼付けると、貼直しできません。
・左ハンドル車に取付ける場合も本書にしたがって取付けを行ってください。
・他のアンテナを取付けている場合、電波干渉を防ぐため他のアンテナから本製品のフィルムアンテナを 15cm～ 30cm 程度離して取付けてください。
・フィルムアンテナは、点検整備済ステッカー・検査標章などと重ならないように貼り付けてください。
・車種によってはナビゲーションの AV 入力端子がオプション（別売 ）の場合があります。確認の上、取付けを行ってください。

5.1　貼付け位置について

・フィルムアンテナは、点検整備済みステッカー・検査標章などと重ならないように貼付けてください。（フロントウィンドウの上端角から 50㎜ 程度離す）
・フィルムアンテナはフロントガラス上部でガラス面全長の 5 分の 1 の範囲内に貼付けてください。
・フィルムアンテナは、フロントウィンドウの内側に貼付けてください。それ以外の場所には貼付けないでください。
・道路運送車両の保安基準第 29 条第 4 項第 6 号に適合させるため、また、性能を充分に発揮させるために、必ず下図の位置に貼付けてください。

左側（L）用フィルムアンテナ
右側（R）用フィルムアンテナ
※ピラー側またはルーフ側どちらか一方に取付けを行ってください

※本取扱説明書ではピラー横部分への取付けを基に説明を行います

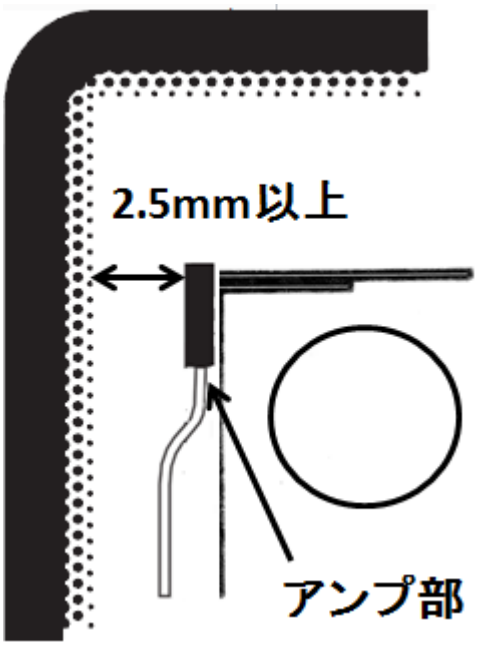
5.2 フィルムアンテナの取付け

※左側（L）用のフィルムアンテナを例に説明しています。左側貼付け後、同様に右側の貼付けを行ってください。

１）フロントピラーを取外し、フロントガラスを清掃するフロントウィンドウ横のフロントピラーを取外した後、フィルムアンテナの貼付け面をクリーナーで綺麗に拭いてください。

※取付け部の油分・水分を十分に取ってから取付けを行ってください。

２）フロントガラスに貼る位置を確認します。



点検シールなどと重ならないようにしてください。

注意

・フィルムアンテナを一度貼付けると貼直しができませんので、貼付け位置等を十分確認してください。
・フロントピラーを戻した際にアンテナコードのアンプ部が干渉しない位置に貼付けを行ってください。
・フロントガラスのフチにあるセラミックライン部には貼らないでください。
・フロントガラスに他のアンテナ（TV、 GPS 等）がある場合は 15cm～ 30cm ぐらい離して貼ってください。

アドバイス

セラミックラインとは…
ウィンドウ端の黒い部分または黒い点々の箇所

３）フィルム部分を押さえ、保護シート（透明）を剥がしながら、フィルムアンテナをフロントガラスに貼付けます。

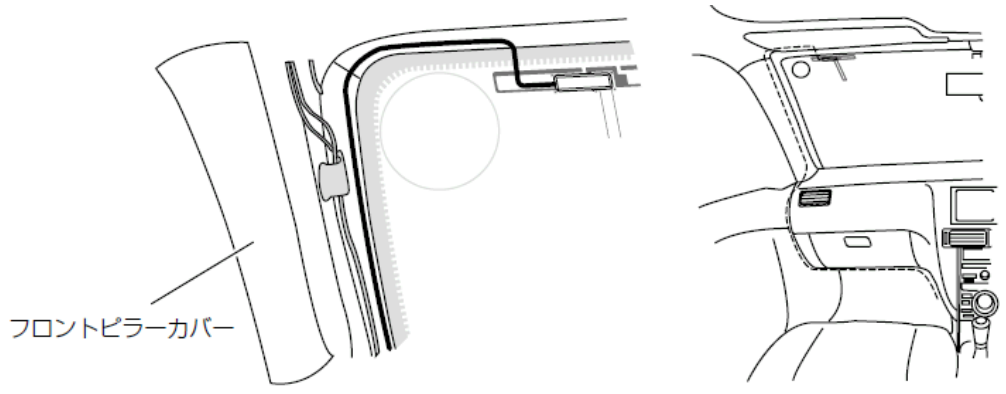
保護シートを剥がす際、保護シートにエレメントが残らないように剥がしてください。貼付け後、フィルムアンテナを布などでこすってガラス面にしっかりと定着させてください。

※フィルムアンテナをこする際、ヘラなど固いものを使用しないでください。破損の原因となります。

取付け方法

４）アンテナコードの配線を行います。

アンテナコードがかみ込まないように、フロントピラーを元に戻します。その後アンテナコードをメインユニット取付位置まで配線します。

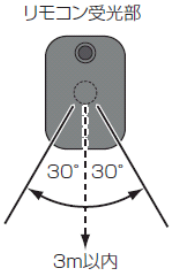


※配線を束ねて取付けを行うと映像にブロックノイズが出たり音声が途切れたりすることがあります。

５）同様に右側（R）用のフィルムアンテナを取付けます。

6. リモコン受光部の取付け

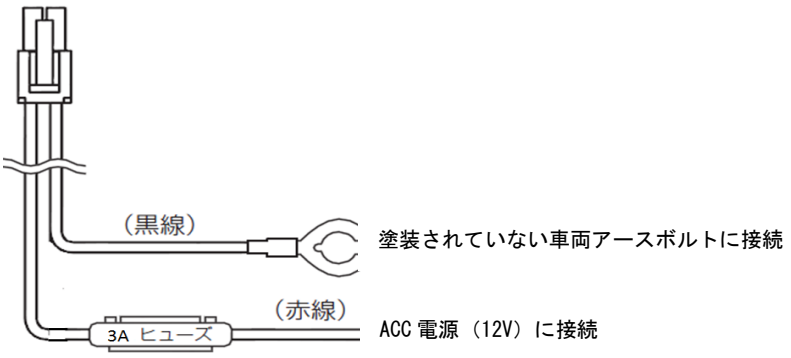
取付けする場所の汚れや油分を拭取り、リモコン受光部裏面に両面テープを貼付け、取付けます。
リモコンの信号を受けやすく、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。



注意
直射日光が当たる場所に取付けを行うと、リモコン操作ができなくなったり、誤動作の原因となる場合があります。

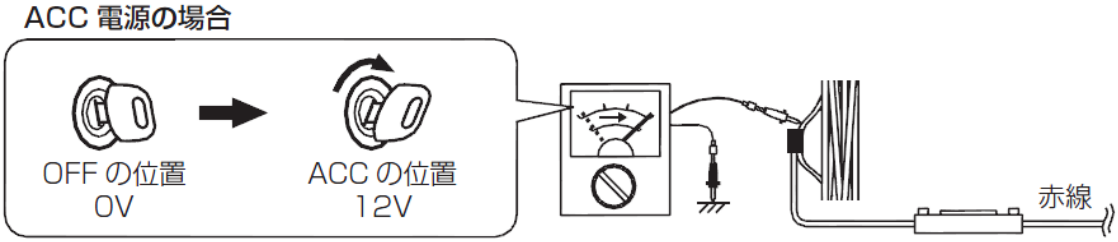
7. 電源コードの取付け

電源コードを車両の ACC 電源・アースボルトに接続します。



7.1　ACC 電源線の接続

付属電源コードの常時電源 /ACC 電源線を車両の配線に付属のエレクトロタップで接続します。



※OFF の位置で電圧が 0V にならない車両はイグニッション電源へ接続してください。

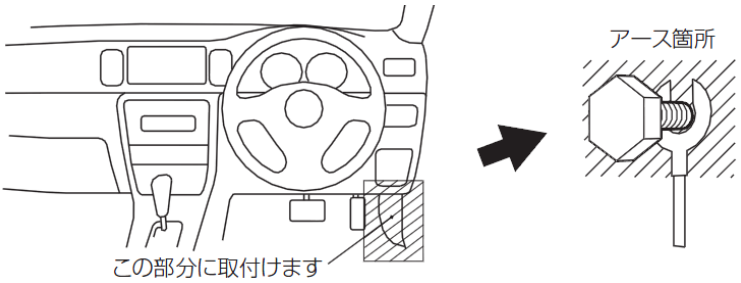
注意
ACC 線はイグニッションキーが ACC 位置で電圧が 12V、OFF の位置で必ず 0V になる車両の配線に接続してください。

7.2　アース線の接続

電源コードのアース端子を車両アースボルトへ確実に共締めしてください。

注意
アース端子とフレームの間に樹脂・塗装等があると確実なアースが取れません。そういった場所へアース端子を取付けると動作が不安定になることがあります。

＜取付け例＞



アドバイス

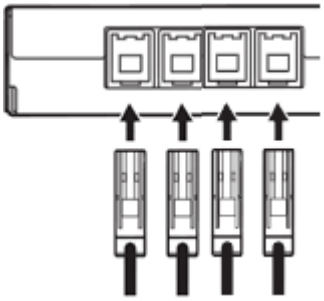
エレクトロタップを使った接続方法

１）車両側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、付属電源コードは差込み穴からストッパーまで深く挿入します。

２）プライヤー等で金属端子を完全に押込みます。
３）カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。
４）最後に市販の絶縁テープを巻いて接続部を保護する

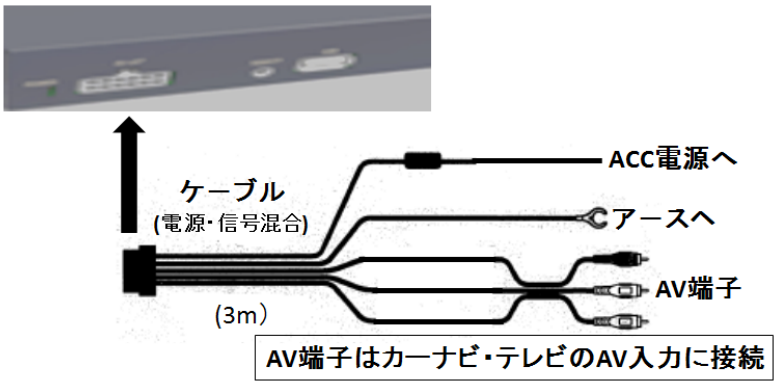
8. メインユニットの接続方法

１）メインユニットにアンテナコードを接続してください。



※アンテナコードのコネクタは左右どちらに差込んでも構いません。

２）付属 AV ケーブルの RCA 端子をメインユニットの映像出力端子 /音声出力端子に接続します。



３）AV ケーブルの RCA 端子をテレビの AV 入力へ接続します。

【2 台のテレビに接続する場合】
※2 台同時に接続する場合は、市販の AV ケーブルを別途お買い求め頂き、AV 出力 2
（Φ 3.5 ミニジャック）に接続してください。
４）リモコン受光部の端子をメインユニットのリモコン受光部ジャックへ接続してください。

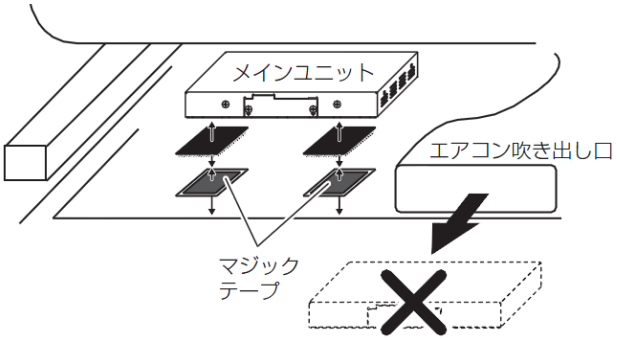
※端子の向きに注意して取付けをしてください。

9. メインユニットの固定方法

アンテナコード、電源コード、リモコン受光部コードなどコード類を車の運転の邪魔にならないようにまとめ、付属のマジックテープでメインユニットを固定してください。

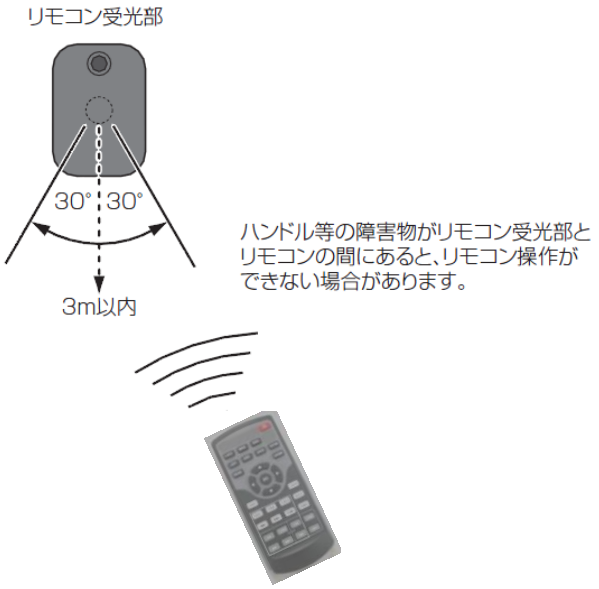
注意
. 結露等によりメインユニットの故障のおそれがありますので、エアコン吹き出し口やその付近に取付けない様に注意してください。
. 取付ける場所（ファンモーターの近く等）によっては車両ノイズの影響を受ける場合があります。その場合はメインユニットの取付けする場所を変更してください。

・取付け例：シート下取付け



10. リモコンを操作方法

. リモコン操作ができるのは、リモコン受光部から水平左右 30 度、直線距離約 3m 以内です。リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できない場合があります。



注意
- 本製品はリモコン無しで操作（設定等）することはできません。
- 運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。
- 直射日光が当たっていると、リモコン操作が効きにくくなる場合があります。

11. 製品の初期設定

11-1. チャンネルの初期設定

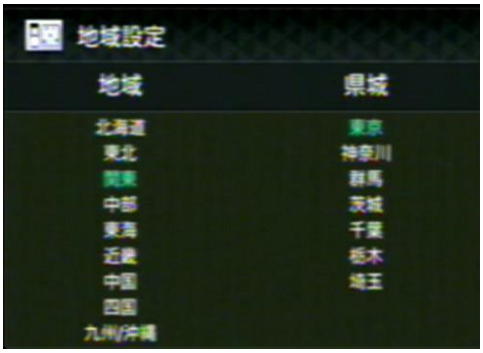
１）【電源】を押し、本体の電源を ON にします。
２）【メニュー】⇒【チャンネル設定】
【初期スキャン】を押します。
３）検索が開始され、スキャン表示がされます。
※スキャンを中止したい場合は【戻る】　　。
ボタンを押してください

４）検索が終わると、受信したチャンネルの一覧を表示します。

アドバイス
初期スキャンの後は【チャンネル設定】⇒【再スキャン】からチャンネルスキャンすることができます。
・走行中や、受信感度の悪い場所でチャンネルスキャンを行った場合、受信エリア内でも受信できないチャンネルがある場合があります。その際は場所を変えて、停車した状態でスキャンを行ってください。

> **注意**
> チャンネルスキャン中に電源を OFF にしないでください。故障の原因となることがあります。

11-2. 地域を設定



１）【チャンネル設定】⇒【地域設定】を選択します。
２）地域一覧からお住まいの地方を選択します。
３）右側に表示される一覧から、お住まいの都道府県を選択します。

11-3. チャンネルを選択

チャンネル選択方法①

１）【▲アップ】または【▼ダウン】を押して選択する場合チャンネルスキャン終了後、本体に記録されたチャンネルを順に選択する事ができます。

チャンネル選択方法②

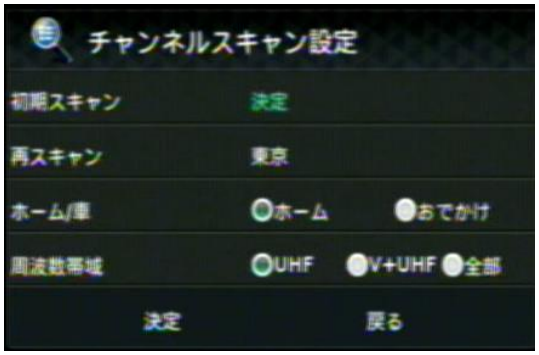
１）【数字キー（1～12)】を押すと、指定チャンネルを受信することができます。

アドバイス

地上デジタル放送では同じチャンネル番号で複数の番組を放送していることがあります（マルチチャンネル）。その場合、数字キーを繰返し押すことによって選択することができます。

11-4.　ホーム／おでかけモードを選択

ご自宅の近所では「ホームモード」,
おでかけの際には「おでかけモード」
を選択します。
リモコンの【ホーム／おでかけ】ボタンを
押すごとにホームモード⇔おでかけモードと
切換ります。

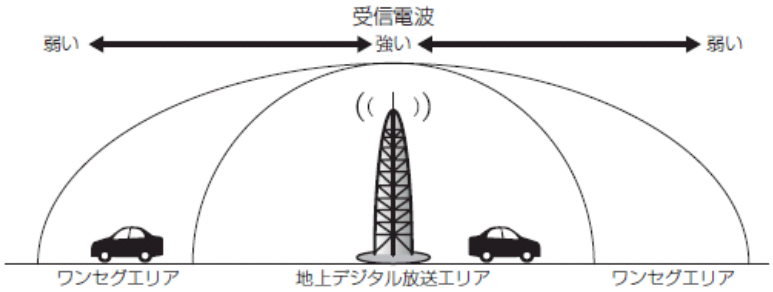


11-5. 地上デジタル放送とワンセグ放送を切換

本製品は受信電波の強弱によって地上デジタル放送とワンセグ放送を自動的に切換える機能を採用しています。
また、設定メニュー内の【受信切換設定】にて設定を【地上デジタル】または【ワンセグ】にすることで、地上デジタル放送とワンセグ放送のどちらかに受信を固定することもできます。

アドバイス

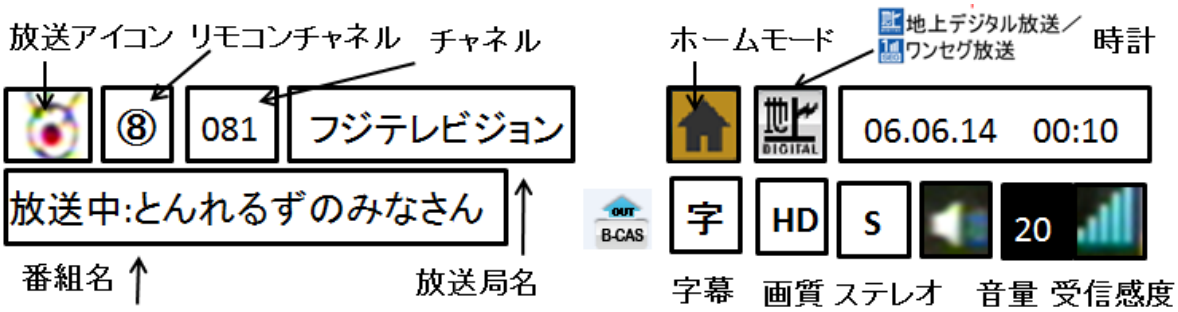
地上デジタル放送とワンセグ放送の切換え時に一瞬映像と音声が途切れる事があります。
放送局によっては、地上デジタル放送とワンセグ放送で放送している番組が異なっている場合があります。
【自動切換】設定時は受信電波の強弱によって地上デジタル放送とワンセグ放送を切換えます。



12. チャンネル情報を表示

【番組情報】を押すと下記のような情報が表示されます。また【番組情報】を押すごとに下記の「詳細表示」⇒「簡単表示」⇒「非表示」⇒「詳細表示」…の順に表示が切換わります。

１）詳細表示



２）簡単表示

３）非表示

何も表示されません。

13. 音声多重放送の選択方法

音声多重放送を受信しているときは、主音声と副音声を切換えて聴くことができます。

１）リモコンの【音声切換】を押すごとに【主音声】→【副音声】→【主／副音声】を繰り返します。

14. 設定メニュー

１）リモコンの【メニュー】を押すと、
　　設定メニューが表示されます。
２）【▲アップ】【▼ダウン】【決定】で
　　設定項目を選びます。
３）画面の右側に表示される詳細項目を選択し、
　　【決定】を押すと設定内容が表示されます。
４）【▲アップ】・【▼ダウン】で設定内容を選択し、
　　【決定】を押します。
※設定項目によっては【◀レフト】・【▶ライト】で選択します。

14-1. チャンネル設定

現在、受信できるチャンネルを検索して、
本体に記憶させることができます。

１）設定メニューの【チャンネル設定】⇒
【再スキャン】を選択します。
２）【決定】を押すとチャンネルスキャン
　　が開始され、現在受信できるチャン
　　ネルが検索されます

14-2. 受信優先権切換設定

「地上デジタル放送」、「ワンセグ放送」の
切換えを、【自動】と【手動切換】から選択
することができます。【初期設定：自動】

１）【メニュー】⇒【機器設定】⇒【受信
　切換設定】を選択します。
２）【自動】、【地上デジタル】、【ワン
セグ】から選択します。
・[自動]..... 電波の受信感度に応じて、「地上デジタル放送」と「ワンセグ放送」を自動で切換えます。
・[地上デジタル][ワンセグ]..... 選択した受信設定が固定されます。

アドバイス

【地上デジタル】に設定して、受信設定を固定している場合、受信感度が悪くなってもワンセグ放送には切換わらず、映像・音声は出力されません。

14-3. 画面設定(アスペクト比)

接続したテレビに合わせて画面サイズを切換えできます。【初期設定：フル】

１）【メニュー】⇒【画面設定】⇒【画面サイズ】を選択します。

２）[4：3]と[16：9]のどちらかに設定を行ってください。

14-4. 字幕・文字スーパー設定

字幕・文字スーパーが複数存在する番組で、表示有無や言語を設定します。

１）【メニュー】⇒【言語・字幕設定】⇒【字幕／文字スーパー】を選択します。

２）字幕・文字スーパーそれぞれについて、[OFF]・[第 1 言語]・[第 2 言語]を選択します。

14-5. B-CAS 情報

B-CAS カードの情報を確認することができます。

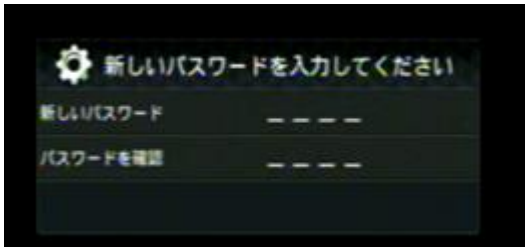
１）　【メニュー】⇒【情報表示】⇒【B-CAS 情報】を選択します。

２）B-CAS カードの情報が表示されます。

14-6. 暗証番号設定

本製品の初期化と視聴年齢制限の設定を変更するための暗証番号を設定することができます。

１）【メニュー】⇒【設定】⇒【暗証番号の設定】を選択します。
２）数字キー(0～9)で 4 桁の暗証番号を入力します。4 桁目の番号が入力された時点で、次の再確認画面に移行します。
３）もう一度、4 桁の暗証番号を入力します。



アドバイス

・暗証番号を忘れてしまうと、設定初期化と視聴年齢制限の設定ができなくなります。
必ずメモしてください。

14-7. 設定初期化

本製品の設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

１）【メニュー】⇒【設定】⇒【工場出荷初期化】を選択します。
２）数字キー(0～9)で 4 桁の暗証番号を入力します。
３）[はい]を選択すると、初期化が始まります。
４）初期化が完了すると、右の画面が表示されます。【決定】を押すと、再起動します。 （工場出荷時は 9999）

アドバイス

・設定初期化を行いますと、製品の工場出荷時の状態となります。
・設定初期化の後に放送受信したい場合は、必ず初期スキャンを行ってください。

15. 故障かな?と思ったら

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

電源が入らない

●電源コードが車両配線にしっかり接続されていますか？

●電源コード内のヒューズが切れていませんか？

映像が出ない(付属 AV ケーブル使用)

●AV ケーブル（付属品）とメインユニットの接続は正しいですか？

●映像（黄）音声（白、赤）に接続されていますか？

●テレビ側は RCA 入力端子に接続されていますか？

●テレビ（モニター）が「RCA 入力※」に切り替わっていますか？

※テレビによっては VTR、VIDEO 等、呼び方は異なります。

●リモコンの電源スイッチで電源が入っていますか？

映像が出ない(市販 AV ケーブル使用)

●AV ケーブル（市販品）とメインユニットの接続は正しいですか？

●テレビ側は RCA 入力端子に接続されていますか？

●テレビ（モニター）が「RCA 入力※」に切り替わっていますか？

※テレビによっては VTR、VIDEO 等、呼び方は異なります。

●本機に対応している AV ケーブルですか？

●リモコンの電源スイッチで電源が入っていますか？

映像にブロックノイズが出る

映像が静止画になる

●デジタル放送の電波が届きにくい場所、または他の電波の干渉
が原因と思われます。
場所を移動することにより電波状態が変化します。

●配線を束ねて取付けを行っていませんか？15 ページ

砂嵐のようなノイズが出る

●取付けた場所によってメインユニットにノイズが影響している可能性が考えられます。
その場合はメインユニットの取付け位置を変更してください。

リモコンで操作ができない

●リモコン受光部を直射日光の当たる場所に取付けていませんか？

●リモコン受光部とメインユニットは確実に接続されていますか？
●リモコン操作範囲内ですか？　電池は正しく装着されていますか？
●受光部とリモコンの間に障害になるものはありませんか？
●リモコンの電池は消耗していませんか？

音声を切り替えても音声が変更しない
●放送番組は音声多重放送ですか？

チャンネル設定ができない
●設定を行う場所によっては全く受信できない場所があります。その場合は場所を移動して再度、設定を行ってください。
●使用する地域によってはデジタル放送（ワンセグ放送）が視聴できない地域や放送電波の出力を調整している地域もあります。その場合は受信できる地域で使用しているか確認してください。

「受信感度が落ちています」と表示がでる
●設定で受信メモリーされていても場所の移動や電波状態により放送局によっては受信できない場合があります。

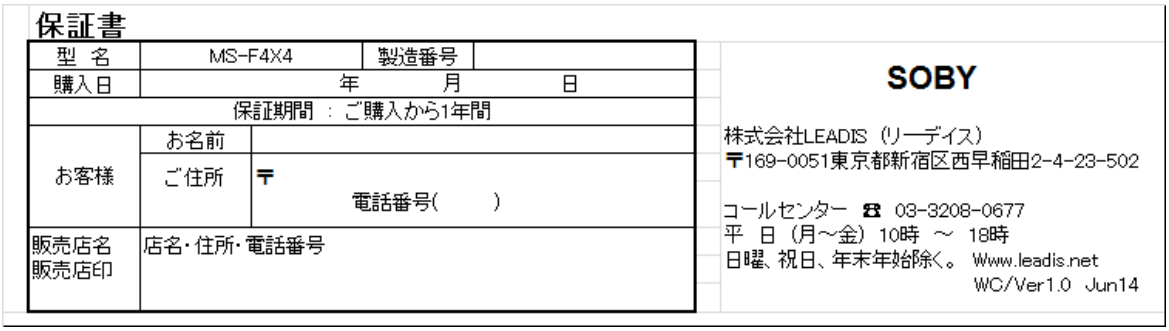
車のバッテリーがあがる
●付属電源コードの接続先を確認してください。

16. 製品仕様

品　　番	MS-F4X4
品　　名	地上デジタルTVチューナー
使 用 電 圧	12V
消 費 電 力	3W Max
対応周波数	470 ～ 770MHz (UHF 13CH ～ 62CH)
アンテナ入力	4系（付属アンテナ専用）
チューナー	ISDB-T 4アンテナ
VIDEO 出力	RCA
AUDIO 出力	ステレオ RCA
使 用 温 度	-20 ～ 70 ℃
外 形 寸 法	(W) 142mm X (D) 88mm X (H) 30mm (突起物を除く)

0　製品仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
0　本説明書のイラストは印刷条件により異なる場合があります。
0　本地上デジタル TV チューナーは日本国内様です。
　外国では放送方式が異なる場合があり、製品の保証外になります。
0　地域によって受信感度など状況が変わります。

製品保証書



保証書

型 名	MS-F4X4	製造番号	
購入日	年 月 日		
保証期間 ： ご購入から1年間			
お客様	お名前		
	ご住所	〒 電話番号(　　)	
販売店名 販売店印	店名・住所・電話番号		

SOBY

株式会社LEADIS（リーディス）
〒169-0051東京都新宿区西早稲田2-4-23-502

コールセンター ☎ 03-3208-0677
平 日（月～金）10時 ～ 18時
日曜、祝日、年末年始除く。 Www.leadis.net
WC/Ver1.0 Jun14

保証書裏

（保証規定）

この保証規定は、株式会社 LEADIS 製品に対するお客様への保証内容を明記したものです。

この保証規定は、日本国内においてのみ有効です。また、一定の期間・条件のもとで、弊社からの保証をお約束するものであり、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

This warranty is valid only Japan.

（Ⅰ 保証の種別）

1．保証期間は、ご購入日より1年間となります。

（Ⅱ 保証の内容）

1．取扱説明書・本体貼付ラベル等に従った正常な使用状態で故障した場合には、保証書の記載内容に基づき、無償修理いたします。

2．修理に際し、当社の判断で良品または同等の機能を有する製品と交換する場合があります。

3．保証の範囲は、修理・交換を限度とします。また、故障その他による逸失利益、その他、製品の使用上で生じた直接または間接の損害については、その責任範囲に含まれません。

4． 次のような場合は保証期間内であっても有償修理とさせて頂きます。

（ア）保証書の掲示がない場合。

（イ）保証書に、お買い上げ日、販売店、又は弊社印などがない場合。

（ウ）ご使用上の誤り、または弊社以外の手で修理、改造が行われた際の故障及び損傷。

（エ）保証書の製造番号が本体の製造番号と一致しない場合。（保証書に製造番号のない製品は除きます）

（オ）火災・地震・風水害・雷・その他の天災地変・虫害・塩害・公害・ガス害・異常電圧、指定外の使用電源による故障および損傷。

（カ）不具合の原因が本製品以外（外部要因・ダウンロードしたアプリケーションソフトウェアを含む）による場合。

（キ）取付場所の移動・輸送時における、落下などによる故障及び損傷。

（ク）静電気によって故障した場合。

（ケ） 特定の機器との組み合わせによって生じる不具合（相性）・故障の場合。

（コ）返送いただいた製品の付属品が不足している場合、無償交換できかねる場合がございますのでご了承ください。

(サ) 業務用途での長時間、連続の使用、屋外、飲食店舗、小売店舗、その他店頭、船舶、航空機、車両内など、家庭での使用とは異なる動作環境、状況で使用した場合。

(シ) 不注意や不適正な保管(高温多湿な場所に置いたり、有害薬等を含む防虫剤の近くに置く等)、及び不適正なメンテナンスにより生じた障害。

(ス) 電池の液漏れなどによって生じた障害。

(セ)バックライト、モーターなどの回転部品、電池など当社規定の消耗部品。

(ソ)スクリーンの汚損、損傷。消耗または摩耗した部品の交換。

(ナ)離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。(弊社の規定する出張修理対象機種の場合)

5. 弊社の検査にて故障および損傷がなく、正常に動作している場合、または、上記の4. のいずれかに該当する場合は、別途検査費用をご負担して頂きます。

(Ⅲ 修理品の送料・費用)

保証期間経過後、修理・検査のために製品を輸送、託送される場合は、お客様に送料をご負担して頂いております。

また、有償修理となった場合で、代金をお振込になる場合は、振込手数料は、お客様にてご負担して頂いておりますのでご了承下さい。

(Ⅳ 修理品の保証)

修理後、同一現象、同一箇所、同一部品、同一故障を生じた場合は、修理完了日より3ヶ月以内に限り, 無償で修理いたします。

(Ⅴ 故障の際の手順)

1. 弊社サービスセンターに商品を着払いにてご送付下さい。(保証期間経過後の送料はお客様にてご負担下さい)

2. 製品到着後、無償修理の場合は、その修理期間、有償の場合は、修理期間と御見積額(返却の際の送料を含みます)をお伝えいたします。

3. 修理期間は、商品によっては時間がかかることがありますのでご了承下さい。

4. 修理完了後、お客様に電話連絡のうえ、配送いたします。修理完了後のご連絡後は、1 ヶ月以内にお引取りをお願いします。ご都合のある場合は必ず弊社にご連絡下さい。1 ヶ月以内にお引取りにならない場合はお預かり品を処分させていただくこともありますのでご了承下さい。

5. 修理期間中の代品の貸し出しは行っておりません。

(Ⅵ 保証期間内の保証に関するご注意)

1. 保証書は再発行いたしません。大切に、安全な場所に保管してください。
2. 記録媒体を搭載、内蔵または、外部記録媒体を使用し記録、再生を行う製品においては、何らかの原因により機器が故障した、または修理、補修、交換等の際に、記録内容が消去、破壊される場合がございます。いかなる場合でも記録内容の保証については出来かねますのでご了承ください。

   お客様の記録媒体・記録内容を含め、修理品を弊社サービスセンターへ送付される場合は、事前にコピーの作成、保存をお願いいたします。